

土木工学・建築学委員会

都市・地域とデザイン分科会（第24期・第7回）議事要旨

1. 日時 令和元年8月6日（火）10:00～12:00
2. 場所 日本学術会議6階 6-C(1)会議室
3. 出席者 赤松佳珠子、浅見泰司、伊藤香織、小野悠、嘉門雅史、木下勇（スカイプ参加）、内藤廣、斎尾直子、坂井文、田井明、南一誠、山本佳世子、和田章、小田切美和（オブザーバー）、神中智子（オブザーバー）（敬称略）
4. 配布資料
資料1 各委員の宿題メモのとりまとめ（内藤委員長）
5. 議題
 - (1) 都市模型見学の報告
 - ・内藤委員長から先月開催された都市模型見学について報告された。
 - (2) 宿題メモを踏まえての課題抽出と議論
 - ・内藤委員長より、以下のように共通するキーワード、まとめが紹介された。
 - ・地方と東京一極集中、国土計画
 - ・コンパクトシティ、消滅可能性都市、縮退のための便益の適正配分
 - ・テクノロジーの進歩、活用
 - ・CABE（The Commission for Architecture and the Built Environment）の参照
 - ・新しい公共
 - ・まとめ
 - 次世代社会の要素として、超高齢化・人口縮退、超情報化、南海トラフ大地震などの災害の大きなインパクト、気候変動、超高速化・自動運転などがあげられる。しかし、これらがどのようなものなのか明確化されていない。これらの要素を調整するものがデザインである。
 - ・宿題メモを踏まえて、各委員間で議論が行われた。
 - (3) 次回分科会
 - ・次回分科会は11月頃に開催し、それまでに本日の議論をまとめた文書を委員長、副委員長、幹事が作成して、各委員に送付することとした。